



市報

あまがさき

11

令和7(2025)
No.1716

消防団も私らしく。

特集
P2-5

これがアマの 団活! スタイル

放水は
はじめ!

PICK UP!

P 6

来年1月5日から
市役所本庁などの窓口受け付けを午後5時で終了

P 10

一緒に働く仲間を待っています
市職員を募集(事務〈既卒・高校既卒・デジタル・法務〉・保育士など)

電子版(抜粋版)も配信中!



15言語での表示・音声読み上げ
Multilingual(15 languages)

消防団も私らしく。

これがアマの **団活！スタイル**



消防団と聞くと、「地元を愛するアツい人たち」を想像するかもしれませんが、実際には私たちと同じように暮らし、働く人たちが、自分らしい関わり方で参加しています。仕事や家庭と両立しながら、消防団活動(団活)を楽しんでいる団員の皆さんを紹介します

ID1001850 図消防局企画管理課 ☎6481-3962 図6483-5022



＼ いろんな人が活躍中 /

尼崎の消防団

地域をよく知るからこそその強み

現在、市内には59の分団があり、そのうち58分団が消火や救助といった消防団活動を担っています。地域で暮らす団員は、災害時に助けが必要な人や災害現場への最短ルートといったまちの事情にも詳しく、災害時のスピーディーできめ細やかな活動に欠かせない存在です。

広報PRの専門チームが誕生

令和4(2022)年度に、企画広報分団が誕生しました。市内のイベント会場や幼稚園などで災害から命を守るためのクイズやオリジナルソングを交えて防火・防災に役立つ知識を紹介したり、SNSで消防団の魅力を発信したりしています。



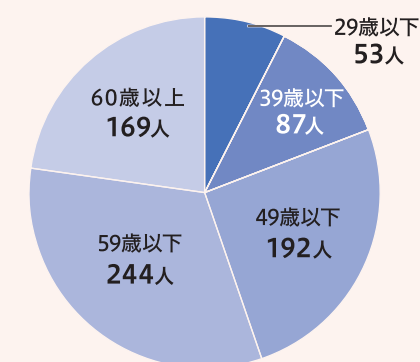
大規模災害でも頼れる存在

阪神・淡路大震災当時、本市の消防団員のほぼ全員が地震発生直後に出勤しました。消火や救助にとどまらず、給水や救援物資の搬送、ガス漏れの警戒、道路や家屋の被害状況調査など被災者支援に大きく貢献しました。

さまざまな世代・職種の人が在籍

会社員や自営業の人、学生など、消防団に在籍する人の立場はいろいろ。火災以外にも、台風や豪雨といった水害への対応やパトロール、啓発・広報活動も実施しています。

消防団員の年代別内訳(10月1日現在)



尼崎市長 松本 真

古くから、ひとたび火事が起これば立場に関係なくまちのみんなで力を合わせて消火活動が行われてきました。戦後、現在の形に組織された消防団は、消防活動のみならず、地域コミュニティの形成や世代間交流などの役割も担う大切な存在です。

市民の皆さんには消防団について知り、応援していただくとともに、一緒に活動ができる方にはぜひ入団していただきたいと思います。まちの安全・安心のためにご協力をよろしくお願いします。

interview

教えて！
**あなたの
スタイル**
団活！

先生も 団活！

子どもたちにも
誇れる活動を、私らしく

入団 12年目 大庄地区 西分団

村上 愛美さん



幼稚園での様子。園児たちに大人気の元気で明るい先生

団員服は「安心の目印」

お祭りで迷子になった子どもに声を掛けると、団員服姿を見てほっとした表情に。「安心の目印になるんだ」と実感しました。

憧れは大先輩の女性団員

消防団員としての憧れは、女性として尼崎で初めて分団長になった大先輩。仕事も家庭も活動も全力で取り組む姿に勇気付けられました。

幼 い頃から地元のお祭りやだんじりが大好きで、そのお世話をしてきていた現在の副団長に誘われて入団しました。仕事を始めて間もない時期だったこともあり両立できるか不安でしたが、配属された西分団の先輩方から「無理のない範囲でいいよ」と言ってもらえたので、安心して活動が続けられています。

入団して10年以上。夜の巡回やお祭りの警備、地域の避難訓練、ポンプ操法大会の練習など、たくさんさんの活動に参加しています。普段は幼稚園で働いていますが、



ポンプ操法大会に出場した村上さん
大会の結果はこちら ID 1042165

子どもたちにも誇れるように、これからも消防団員としての活動に幼稚園教諭としてできることを掛け合わせて、いろいろなことに挑戦していきたいです。



缶バッジのデザイン
考えてきました！

子どもたちの 笑顔に感激

企画広報分団の活動は
いろいろ。幼稚園での啓
発イベントで、子どもたち
に制服を着せてあげると、
キラキラした笑顔で喜んで
くれました。



デザイナーも **団活！**

自分の得意なことを 生かせる場所

入団
1年目

消防団本部
企画広報分団

かも はら
蒲原 登志美さん

子 どもの学校のPTA活動の時に、同じクラスの保護者から消防団を勧めてもらいました。「体力ないから絶対無理！」と思っていたんですが、尼崎には企画広報分団があると聞いて、「それなら私にもできることがあるかも」と思ったんです。本業がグラフィックデザイナーなので、イベントで子どもたちに配布する缶バッジをデザインしたり、広報用チラシを作成したり、自分の得意領域を生かして活動しています。

まだ入団して間もないですが、消防団は思っていたよりずっと温かく、自然体で加えられる場所だと感じています。デザインの力で消防団の魅力をさらに広げたいです。

若手社員も **団活！**

気軽な気持ちで 友人と入団。 今は自信ある自分に

入団
2年目

園田地区
園田第5分団

横平 鈴さん

入 団当初は消防団のことは全然知らなかったのですが、放水訓練やポンプ操作の練習を重ねるうちに「もっと上手になりたい」という気持ちが強くなってきました。今は大会の選手として、



友達7人で入団

友達に誘われ、7人で一緒に入団。関わり方は人それぞれですが、仲間がいるので楽しく続けられています。



週2〜3回の練習に加えて自
主練もしています。
一時期、練習に身が入らな
かった時には、消防団員でも
ある社長から「逃げずに頑張
れ。お前ならできる」と励ま
してもらい、気持ちを立て直
しました。まだ火災現場での
活動経験はありませんが、消
防団の活動が「自分にもでき
ることがある」という自信に
なっています。仲間と一緒に
大会で結果を出し、若い世代
が参加したくなる消防団を
つくってみたいです。

会社での様子。社長も消防団員で、「最近、
顔つきが変わってきたな」と語ります



消防トピックス

老朽化消火器・リチウムイオン蓄電池 などのリサイクル回収

☎1002983

11月10日(月)午後1時30分〜3時30分、市内各消防署と武庫・園田分署で、家庭で老朽化などにより不用になった消火器(エアゾール式や事業所用を除く)を回収します。☎不要 ¥1本1500円、リサイクルシール付きの消火器は1本1000円、リチウムイオン蓄電池などは無償。

11月9日は「119番の日」

☎1039370

消火活動や救急・救助活動は1分1秒を争う時間との勝負です。119番通報は慌てず、落ち着いて、正確に行いましょう。

- ① 火事か救急かを伝える
- ② 発生場所(住所など)を伝える
(住所が分からない場合は、
目標となる建物などを伝える)
- ③ 患者の年齢、
性別、状態を
伝える



令和8年消防出初式

☎1023629

来年1月10日(土)午前10時〜正午、あましんアルカイックホール・オクトと市防災センター、アルカイック広場で、式典とはしご車搭乗体験や放水などさまざまな体験ができるイベントを開催します。

防火衣がリニューアル

☎1042169

火災現場での安全性向上と消火活動の機能性強化を目的として、消防団員が着用する防火衣を順次リニューアルします。新しい防火衣をまとった消防団員の活躍にご期待ください。



秋の火災予防運動

☎1002979

11月9日〜15日は秋の火災予防運動の実施期間です。火災予防のために4つの習慣と6つの対策を心掛けましょう。

4つの習慣

- ☞ 寝たばこは絶対にしない・させない
- ☞ ストープの近くに燃えやすい物を置かない
- ☞ こんろを使うときは火のそばを離れない
- ☞ コンセントのほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- ☑ ストープやこんろなどは安全装置付きのものを
- ☑ 火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換
- ☑ 部屋を整理整頓し、寝具や衣類は防災品に
- ☑ 消火器などを設置し、使い方を確認しておく
- ☑ 高齢者や身体の不自由な人は避難方法を確認
- ☑ 訓練や戸別訪問で地域ぐるみの防火対策を

消防局の情報をSNSで発信中

消防団の活動も楽しく紹介していますので、ぜひチェックしてください。消防団についてのお問い合わせもお待ちしています。

☎6481-3962 ☎6483-5022

消防局
企画管理課
紺田 凌



入団
8年目

小田地区
左門殿分団

三好 昭子さん

母ちゃんも **団活！**

ママ友の団員服姿に 一目ぼれ。 カッコいい私を目指して

一番の応援団は子どもたち
帽子をかぶりたがったり、「母
ちゃんすごい！」と喜んだりしてくれ
ます。訓練から帰ると娘が「消防団
好きやなあ」と笑ってくれることも。



入 団のきっかけは、近所のママ友が団員服で自転車に乗っている姿を見かけたこと。「カッコいい！私も着てみたい」と思って紹介してもらい、面談を経て入団しました。

これまでの活動で忘れられないのは、大きな火災現場に出動した時のこと。炎の熱気や音に恐怖を感じながらも、みんなが団結して活動する姿に影響を受けてもっと現場で活躍できるようにしたいと思い、研修にも参加しました。

消防団は特別な人がやるものではなく、私のような子育て中の母親でもできる身近な活動。入団前はただ火災現場を遠目に見ることにしかできなかったのですが、今は自分も災害で困っている人の助けになれるんじゃないかって思っています。これからも自分のペースで続けながら、少しでも誰かの力になれる団員になりたいです。